

立命館経済學

第 38 卷 第 3 号

1989年8月

内 容

論 説

- 現代の産業構成と労働価値論……………小檜山 政 克 1
- 産業合理化の現段階と労働組合（下）……………三 好 正 巳 17
——労働関係，労働基準，労使関係の理論的枠組みのための試論——
- 世界システムと生産システム……………坂 本 和 一 41
——一つの問題状況——
- リカード課税転嫁説……………堂 目 卓 生 84
——スラフファ体系による再考察——
- 共同研究室…………… 104

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第38巻・第1号

論 説

- 沖縄漁業をめぐる経済的諸問題……………杉野 園 明
為替レート決定における相対価格水準の影響……………平 田 純 一
——円対ドル為替レートの実証分析——

研 究

- 戦後日本の鉄鋼貿易について……………茶 谷 淳 一
——輸出入数量分析を中心として——
利潤率低下法則における「外観上の矛盾」について……………増 田 和 夫
——低下法則と恐慌の関連——

翻 訳

- 解学詩「鞍山製鉄所の変遷」(2)……………松 野 周 治

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第38巻・第2号

論 説

- 産業合理化の現段階と労働組合(上)……………三 好 正 巳
——労働関係, 労働基準, 労使関係の
理論的枠組みのための試論——

- 大分県しいたけ生産の現状と問題点……………岩 田 勝 雄

研 究

- ドル体制下における世界貨幣法則の貫徹形態……………野 村 俊 郎
——労働価値論の今日的妥当性に関する一考察——

- 中国産業連関表による価格体系分析……………李 潔

翻 訳

- 川崎誠一・J. マクミラン「下請取引の分析——
プリンシパル・エイジエント理論からの接近——」……………川 崎 誠 一

発行所 立命館大学経済学会